

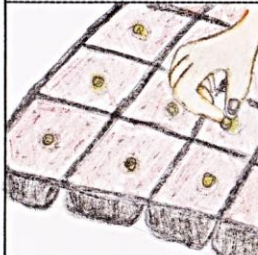
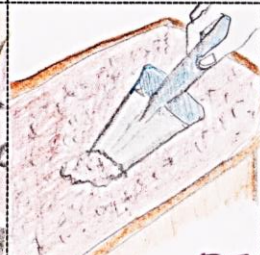

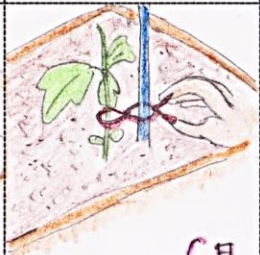



生物育成 レポート

P174~183の実習例(イネ, ピーマン, ジャガイモ, エダマメ, キク, パンジー, ラディッシュ, ベビーリーフ, リーフレタス)の9種類から1つ選び、教科書の内容を描き写す。絵や写真についてはコピーしたものを貼ってもよい。丁寧に描いていたらなお良い。2つ以上描いて提出しても良い。提出期限は6月の登校日とする。

実習例		植物の分類 (マメ科) 原産地 (中国)		生産量の多い地域 (千葉県・新潟県・埼玉県) 栽培方法 (露地・容器)				
エダマメ								
育成の準備・計画	<p>[栽培方法] 地域区分: 中間地 方法: プランター 場所: 日当たりの良い場所</p> <p>[特徴] マメ科植物で、 ※根粒菌と共生する。 発芽適温: 20~30℃ 生育適温: 20~30℃ 連作障害: あり ※ 3~4年空ける 病害虫: カメムシ、ネコブセンチュウ、 "マメシクイカ" など</p>	育成	種まき	土の準備	定植	支柱立てと誘引	エダマメの収穫	 <p>9月 ダイズの収穫 いくつかの株を収穫せず、残しておく "ダイズ"になる。さやが黄色くなり、カラカラと音がするようになったら収穫する。</p>  <p>病害虫 開花するとカメムシが発生、さやがびろろになるなどの被害が出るので防虫ネットで防ぐ</p>
		 <p>4月 セルトレイに培養土を入れ種をまく。</p> <p>ポイント! 畑に"がまきをするときは、鳥に食べられないように不織布をかける。</p>	 <p>5月 プランターに窒素肥料が少なめの培養土を準備する。 (エダマメの根に生息する根粒菌が窒素分を供給するため) エダマメと根粒菌は互いに必要な栄養分を得ている。</p>	 <p>5月 初生葉が展開し始めた頃にプランターに定植する。 株間 15~20cm で、3株植える。 65cmのプランターで株間15cmにすると12株までは定植可能</p>	 <p>6月 草丈が15cm以下で支柱(約50cm)を立てて誘引し、倒れないようにする。</p>	 <p>7月 さやが膨らみ、押すと飛び出すようになったら収穫する。 上部と下部のさやで成熟期が多少異なるので、充実したさやだけ摘み取ってもよい。</p>		

① ※ 根粒菌とは... 見た目は丸い粒状で、植物の根っこについて、栄養を与え合って生きる。植物に窒素を与え、植物からは栄養分をもらう。

② ※ 連作障害とは... 同じ作物をつくり続けると、土壌の成分バランスが崩れ、収量低下につながる。

知らなかった要語を調べて書いておくのも良い。